

2026 年 4 月 24 日

**【SUPER FORMULA 第 3 戦 /オートポリス】 大会直前情報  
いよいよ予選 Q3 までが行われる 1 レース大会**

今シーズンは 5 人のルーキードライバーを含め、24 名がエントリーしているスーパーフォーミュラ。桜舞う 4 月上旬のモビリティリゾートもてぎで行われた開幕戦では、昨年最後までタイトル争いを繰り広げた太田格之進選手(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)が 2 連勝を飾る一方で、全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権からのステップアップ組や、FIA F2 経験者などのルーキードライバーたちも目を見張る活躍を見せ、初戦から見どころ満載の週末となりました。そこからわずか 3 週間。コースキャラクターの異なるオートポリスで、勢力図は変わるのでしょうか。

今シーズン、1 大会 1 レース制のフォーマットとなる大会では、公式予選の方式が変わります。通常の Q1、Q2 に加え、さらに 5 名までドライバーを絞った Q3 を、『SUPER POLE QUALIFYING Supported by YOKOHAMA TIRE』として実施。この Q3 で最速タイムをマークし、見事ポールポジションを獲得したドライバーには賞典が贈呈されることになりました。4 月上旬に行われたもてぎ大会は第 1 戦を土曜日に、第 2 戦を日曜日に行う 2 レース制だったため、このオートポリス大会で今シーズン初めて Q3 での戦いが展開されることになります。

オートポリスの攻略法について、あるドライバーは「セクター 3 でよく曲がりよく踏めるクルマを作ることが大事ですね。そこが速ければタイムが出ます」と回答。また別のドライバーは「路面も特殊で、ほんの少しコンディションが変わっただけでも状況が大きく変化するので、合わせこみが難しいサーキット。午前と午後でガラッと雰囲気が変わることもあるので、予測力のような力も必要です」と分析します。オートポリスは舗装が特徴的で、タイヤに厳しいサーキットと言われており、1 周の中でどのようにタイヤのパフォーマンスをピークに持ってくるかのマネジメントも重要です。ピットアウトからタイヤのウォームアップ、そしてアタックまでの一連の流れのなかで、タイヤ、ドライバー、マシンのパフォーマンスを最大限に引き出し、最初の SUPER POLE QUALIFYING Supported by YOKOHAMA TIRE を制するのはどのドライバーでしょうか。今大会は、決勝レースはもちろん、予選でのポールポジション争いに注目です。

( \* 写真は 2025 年のもの )